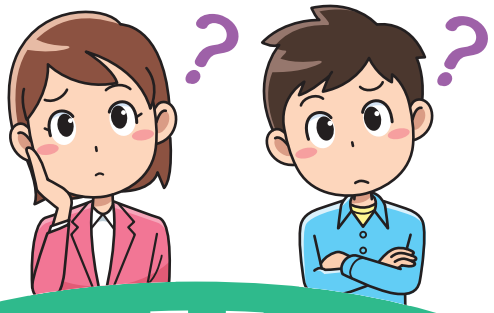
新潟水俣病



20の疑問



新潟水俣病って
どんな 病気ですか？

新潟水俣病の被害は
なぜ くり返されたのですか？

新潟水俣病問題は
まだ 終わっていません！



新潟水俣病ってどんな病気ですか？



Q1 新潟水俣病は、いつごろわかったのですか？



A1 新潟では、1965（昭和40）年５月31日に新潟大学から新潟県庁に報告があり、６月12日に正式に発表しました。

新潟では、1965（昭和40）年５月31日に、新潟大学医学部から新潟県庁に「原因不明の有機水銀中毒患者が阿賀野川下流地域で散発している」という報告があり、新潟水俣病の発生が公式確認されました。さらに、６月12日に「阿賀野川流域に有機水銀中毒患者７人発生、うち２人死亡」と正式に発表されました。

その９年前の1956（昭和31）年５月１日に、新日本窒素（後にチッソ）附属病院から水俣保健所に熊本県水俣市で原因の分からない病気が発生していると報告があり、この日が水俣病の発生が公式に発見された日となっています。

なお、政府が熊本と新潟の水俣病について統一見解（熊本はチッソ水俣工場、新潟は昭和電工鹿瀬工場から流されたメチル水銀化合物が原因）を出したのは、全国の同種の工場が操業を停止した後の1968（昭和43）年９月26日です。



Q2 「新潟水俣病」という名前はなぜついたのですか？



A2 新潟水俣病は、熊本で発見された水俣病が新潟で発生したからです。

新潟水俣病は、日本で発生した第２の水俣病です。

1956（昭和31）年に熊本で病気が発見された当時は、原因がわからず、「奇病」と呼ばれたり、伝染病ではないかとおそれられたりしましたが、発生した地域の名前をとって「水俣病」と呼ばれるようになりました。

新潟では、1965（昭和40）年６月12日に新潟大学と新潟県庁が正式に発表した翌日の新聞に「新潟に『水俣病』発生」と掲載され、その後「新潟水俣病」と呼ばれるようになりました。

（注）資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※1　今では、工場排水に混じって流された無機水銀も海や川の中にすむ微生物のはたらきによりメチル水銀になることがわかっています。



Q3　新潟水俣病の原因はなんですか？どのようにして発生したのですか？



A3　工場から流されたメチル水銀が基となって新潟水俣病（有機水銀中毒）が発生しました。食物連鎖によりメチル水銀が川魚に取り込まれ、それを人々が食べたことによるものです。

新潟水俣病を発生させた昭和電工鹿瀬工場は、1936（昭和11）年（その時は昭和合成化学工場）から酢酸や酢酸ビニルなどの原料となるアセトアルデヒドを生産していました。

その際に使った水銀が、毒性の強いメチル水銀※1に変わり、工場排水に混じって阿賀野川に流され、それが食物連鎖を通じてプランクトン、水生昆虫、魚へと取り込まれ濃縮されたのです。

それを知らずに人々は川魚を多く食べたことで新潟水俣病が発生したのです。

（注）昭和電工㈱は、2023（令和5）年に「㈱レゾナック・ホールディングス」に社名変更。



Q4　水俣病にはどんな症状がありますか？



A4　手足のしびれなどの様々な症状があります。また、人によって症状の現れ方に違いがあります。

「手足のしびれやふるえ、耳鳴り、こむら返り、うまく歩けない、言葉をうまく話せない、見える範囲がせまくなる、耳が聞こえにくい、頭痛、味やにおいがわからない」など様々な症状があり、また、人によって症状の現れ方に違いがあります。

水俣病が発生した当初は、とても症状の重い人がいて、ひどい場合は死んでしまうこともありましたが、患者の多くは外見からは健康な人と見分けがつかず、そのため、周りの人からわかってもらえず、ニセ患者などと見られて苦しんでいる人もいます。

新潟水俣病って どんな 病気ですか？



Q5 水俣病は治りますか？ インフルエンザのようにうつったり、遺伝したりする病気ですか？



A5 水俣病を完全に治すことのできる治療法は、見つかっていません。また、うつったり遺伝する病気ではありません。

水俣病は毒性の強いメチル水銀に汚染された魚を食べたことによって起きた食中毒で、空気や体に触れることでうつる伝染病ではありません。

また、妊娠中のお母さんがメチル水銀に汚染された魚を食べて、おなかの中の赤ちゃんが水俣病になってしまうこと（胎児性水俣病）もありましたが、遺伝ではありません。

痛みを和らげる治療などが行われていますが、水俣病を完全に治す治療法は見つかっておらず、現在の医学では元の健康な体に戻すことはできません。



Q6 新潟水俣病はどんな人たちがかかったのですか？



A6 新潟水俣病にかかった人たちは、ごく普通の生活をしていた人たちです。

新潟水俣病が発生した阿賀野川流域は、昔から川漁が盛んで魚がたくさんとれ、そこに暮らす人たちにとって魚はごちそうであり、動物性たんぱく源として毎日のように食べていました。

そのように普通に暮らしていた人たちが、工場から流れ出たメチル水銀に汚染された川魚を知らずに食べたことで、新潟水俣病にかかってしまったのです。

阿賀野川沿いで、同じような生活を送っている人たちやメチル水銀に汚染された魚を食べた家族の中から、多くの被害者が出ることになりました。けっして特別な生活をしていた人たちではありません。

（注）資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※2　暫定的規制値：行政上の指導指針として厚生省（現厚生労働省）が定めた「魚介類の水銀に関する暫定的基準」のこと。



Q7　人間以外の動物も水俣病にかかるのですか？



A7　ペットや家畜も水俣病にかかりました。

新潟では、汚染された魚を食べたネコや犬、魚をエサに混ぜて与えた牛や豚が狂ったようになって死んだことがわかっています。

ほかにも、カラスや水鳥が水俣病にかかったり、干した魚を砕いてニワトリに食べさせたところ、全滅したりしたこともありました。



Q8　今でも新潟水俣病は発生しているのですか？



A8　今では、新たに新潟水俣病にかかる人はいないといえます。

昭和電工鹿瀬工場は、1965（昭和40）年１月までアセトアルデヒドを製造し、メチル水銀を含む排水を流していました。新潟水俣病が発生した当時、阿賀野川では、水銀値の高い魚がいましたが、その後はしだいに低くなり、1978（昭和53）年４月に新潟県は安全宣言を出しました。

新潟県では、今でも阿賀野川にすむ魚の水銀量調査を行っており、2018（平成30）年及び2021（令和３）年に、国が定めた暫定的規制値※2を超えた魚が見つかりましたが、平均値ではその規制値を下回っています。また、食生活もずいぶん変わりました。

そのため、新潟でも熊本でも、新たに水俣病にかかる人はいないといえます。しかし、水俣病の症状がありながら、差別や偏見をおそれて声を上げられない人や、自分が水俣病と気づいてない人もいると考えられます。

新潟水俣病の被害は なぜ くり返されたのですか？



Q9 熊本で水俣病が発見されてから、どうして９年もたった1965（昭和40）年に新潟水俣病が発生することになったのですか？



A9 経済成長を優先し、人の命や健康、環境を守ることが後まわしにされたことで発生したといえます。

熊本大学の研究班は1959（昭和34）年に、有機水銀が水俣病の原因と公表しましたが、原因の特定は1968（昭和43）年の政府統一見解を待たなければなりませんでした。

また、通商産業省[※3]は、1959（昭和34）年にチッソ水俣工場と同じようにアセトアルデヒドや塩化ビニルを生産している全国の工場を調査しましたが、結果は公表されず、水俣病の発生を防ぐ措置はとられず、昭和電工鹿瀬工場やチッソ水俣工場では増産が行われました。

当時の日本は戦後の復興が終わり、国をあげて技術革新による新たな経済発展を目指していました。そのため、人の命や健康、環境を守ることよりも、国の経済成長や会社の利益を優先したことで水俣病は発生したといえます。



Q10 どうして差別や偏見が起きたのですか？ どんな差別や偏見があるのですか？



A10 最初は、原因がわからなかったことがありました。その後は、裁判を起こしたり救済を受けたりしたことで「金目当て」、「ニセ患者」などと差別や偏見を持たれました。

最初に水俣病が発見された水俣市では、原因がわからないため、患者の家を消毒したり、伝染病棟に入院させたりしました。その後、原因が伝染病ではないことがわかってからも、行政や報道機関がはっきり取り消さなかったため、周りの人たちに伝染病、こわい病気という誤解や偏見が残ることになりました。

このため、患者の中には会社を辞めさせられたり、結婚を反対されたりする人が出てしまいました。

新潟でも、最初は「タタリ」、「ナゾの病気」などと言われました。また、多くの患者は外見から健康な人と見分けがつきにくく、水俣病の認定申請をしても、認められないと「金ほしさに申請した」、「ニセ患者」などと言われ、裁判を起こすと「そこまでして金がほしいか」などと中傷されました。他にも嫌がらせの電話やはがきが届いたり、家を建てると「水俣御殿を建てた」などとねたまれたりすることもありました。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※3　通商産業省：現在の経済産業省。国の産業を活発にするための政策をつくる機関

※4　「公害健康被害の補償等に関する法律」や「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。

※5　「新潟水俣病地域福祉推進条例」のこと。



Q11　差別や偏見は今でもありますか？



A11　水俣病に対する差別や偏見は、まだ続いています。

以前ほどではありませんが、法律※4に基づいて認定などの申請をした人に対して、「金目当て」とか、「ニセ患者」などの誤解や偏見を持たれることがあります。

熊本では、修学旅行先で「水俣の子どもと泊まりたくない」とか、部活動の試合などで「水俣病、さわるな!」と言われるなど、今でも水俣市の人たちへの差別や偏見が起きています。

差別や偏見をおそれて「そっとしておいてほしい」とか「寝た子を起こすな」と周りの目を気にする人や、自分が水俣病であることを隠している人もいます。

最近では、熊本県内の市役所が「水俣病は感染症だ」とする誤った内容のカレンダーを市民に配ったり、大手学習塾が「水俣病は遺伝する」といった、事実と異なる内容の教材をオンラインで使っていたりするなどの差別や偏見につながる事例も発生しています。



Q12　なぜ、差別や偏見はなくならないのでしょうか？



A12　新潟水俣病が正しく理解されていなかったり、相手の立場に立って考える心が欠けていたりすることが原因ではないでしょうか。

人は、集団になると「みんなと同じでありたい」、「みんなと違う人がねたましい」などという気持ちが生まれ、自分と異なる人を差別しがちになる傾向があります。

新潟県では条例※5をつくり、新潟水俣病患者への差別や偏見がなくなるような取組や学校において新潟水俣病のことを学習する取組などを進めています。

まずは、私たち自身が、新潟水俣病がなぜ起きて、どういう病気なのか、どんな苦しみがあるのかなど新潟水俣病を正しく理解し、周りの人たちにも伝えていくことが大切です。

皆さんも、差別や偏見をなくすにはどうしたらよいか、どう行動したらよいか考えてみましょう。

新潟水俣病問題は、まだ終わっていません!



Q13 新潟水俣病問題は、もう解決したのでしょうか?



A13 まだ、解決したとはいえません。過去の問題ではないのです。

現在、被害を申し出る機会としては、「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づく認定申請がありますが、差別や偏見をおそれて声を上げられない人、自分の症状が水俣病と気づかない人もいると考えられています。

新潟水俣病の発生当時、患者が見つかった阿賀野川流域に住む人の健康調査はすぐに行われましたが、十分な内容ではありませんでした。

国は、四肢（手足）の感覚障害があれば水俣病と認めた2013（平成26）年の最高裁判決を受けて、川魚を食べたことを証明するよう被害者に求めており、今後声を上げようとする人が、当時の過ごした生活や健康状況を証明することは難しいのではないかと心配されています。

補償や認定をめぐる裁判は今も続いており、水俣病問題はまだ終わっていません。被害者に対する差別や偏見の解消や地域の絆の回復を含め、過去の問題ではないのです。



Q14 新潟水俣病の患者さんは何人いるのですか?



A14 調査等が行われていないため正確にはわかりませんが、現在、わかっているだけで患者さんは約3,900人います。

新潟では、「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて認定された人（「認定患者」）は、717人（2025（令和7）年9月現在）います。他にも認定されてはいないものの、水俣病にみられる一定の症状があり、水俣病総合対策医療事業等の対象となっている人や、水俣病被害者救済特措法※6の給付等の申請をしている人を加えると、今わかっているだけで約3,900人※7の患者さんがいます。（なお、熊本の患者・被害者数はわかっているだけで約7万人います。）

また、水俣病と認められずに亡くなった人も相当数いると思われます。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※6 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。2012(平成24)年7月31日で、給付申請の受付は終了しています。

※7 この人数には、亡くなった人で水俣病総合対策医療事業対象者と同様の症状があるとして、一時金の対象となった225人及び条例による福祉手当受給者が含まれています。

※8 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき「水俣病」と認定する判断条件のこと。過去に有機水銀を摂取したこと、いくつかの症状の組み合わせ(症状の一部しかない場合も総合的に判断することは可能)があること、これらを総合的に検討し認定される。

※9 患者団体などは、条件が厳しくなったと主張しています。



Q15 なぜ、国の基準では水俣病患者と認められない人がいるのですか? また、同じ水俣病患者なのにどうして認定される人とされない人に分かれているのですか?



A15 国では、法律によって水俣病患者の判断基準※8や補償(救済)の対象を分けているからです。

国の法律で水俣病患者(「認定患者」)と認められるには、現在、国が示した判断条件を満たさなければなりません。

認定患者と認められない人は、水俣病総合対策医療事業や水俣病被害者救済措置法※6の救済対象となることができますが、これらの申請は既に締め切られています。

2004(平成16)年、熊本県が認定をしなかった裁判で、最高裁判所から、症状の一部しかない場合も水俣病と認める判決があり、2013(平成25)年には、最高裁判所から、認定基準について複数の症状がない場合でも水俣病と認定する余地はあるという判決がありました。

これを受け2014(平成26)年に改めて国から認定についての通知が出されましたが、かつての水銀摂取の客観的資料での裏付けを求めるなどの厳しい条件がつけられており、被害者からは、救済の拡大につながっていないという声があがっています。



Q16 被害を受けた人たちは、補償(救済)を求めてどんな活動をしたのですか?



A16 原因をはっきりさせ、補償(救済)することを求めて裁判を起こしました。

最初に新潟水俣病が発生した当時、被害を受けた人たちは、原因企業の昭和電工は責任を認めなかったため、補償(救済)を求めて裁判を起こしました。これは日本で最初の公害裁判となり、この後、各地で公害裁判が起こされることになりました。

その後、認定を申請する人が多くなりましたが、国が判断条件※8をより具体化※9したことから認定されない人も多くなり、国の責任や被害者の救済を求める裁判が何回も繰り返されています。

現在も、新潟水俣病患者たちは、この経験と教訓を多くの人に伝えるとともに、被害を受けたすべての人の救済を求める活動を続けています。

新潟水俣病問題は、まだ終わっていません!



Q17 新潟水俣病患者にはどのような補償（救済）がされているのですか?



A17 国の法律に基づいて、原因企業や国、自治体から補償金や医療費などが支払われています。

「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて新潟県、新潟市の認定審査会の意見を聞いて水俣病と認められた※10人には、新潟水俣病を発生させた昭和電工から補償協定に従って補償金や医療費などが支払われています。

ほかに、水俣病とは認められないものの、水俣病にもみられる手足や全身の感覚障害がある人を対象に、国と新潟県、新潟市から医療費などが支払われています（水俣病総合対策医療事業や水俣病被害者救済特措法※11の対象となった人）。また、新潟県では、条例※12により新潟水俣病患者に新潟水俣病福祉手当を支払っています※13。



Q18 新潟県は新潟水俣病問題を解決するために、どのような取組をしていますか?



A18 新潟水俣病の被害にあわれた方々を社会全体で支えていくため、「新潟水俣病地域福祉推進条例」をつくり取組を進めています。

【条例の主な内容】

- ○阿賀野川のメチル水銀で汚染された魚をたくさん食べたことにより水俣病に見られる一定の症状が出た方を「新潟水俣病患者」と定義しています。
- ○新潟水俣病患者に新潟水俣病福祉手当を支給したり相談窓口を設置します。
- ○新潟水俣病への理解を深めてもらい、その経験や教訓を将来に伝える教育・啓発活動を推進します。
- ○流域市町と被害者を含む地域住民が協働し地域の再生・融和に取り組むことを促進します。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。
※10 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき「水俣病」と認定されること。
※11 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。
※12 「新潟水俣病地域福祉推進条例」のこと。
※13 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて認定された患者さんには支払われません。



Q19 なぜ、水俣病は、近代の公害の原点といわれているのですか?



A19 食物連鎖を通じて起こった病気「水俣病」は、世界で最初に、化学工場からの排水で環境を汚染し健康被害を発生したことがわかったからです。

かつては、毒物は大量の水で薄められれば害はなくなると考えられていました。しかし、微量の毒物でも環境汚染と食物連鎖による中毒事件が起きたこと、また、胎児を守ると信じられていた母親の胎盤を通過して胎児に障害を与えた胎児性水俣病が発生したことなどは、これまで経験したことがなく、人類の将来を暗示させる事件であったことから、水俣病は公害の原点といわれています。



Q20 今日の社会に新潟水俣病の経験はどう生かせますか?



A20 私たちの周りには様々な環境問題があります。社会全体で改めて水俣病の経験と教訓を考えていきましょう。

食物連鎖を通じて発生した新潟水俣病は「人間も自然界の一部であり、人間が自然に及ぼす影響は思わぬ形で人間にかえってくる」ということを教えてくれました。

快適で便利な現代社会ですが、私たちのまわりには気候変動や種の絶滅、水や大気・土壌の汚染など、様々な環境問題があり、科学的な仕組みがわかっていない問題も多く抱えています。

水俣病は熊本で発生し、9年後に阿賀野川流域でも繰り返されてしまいましたが、何らかの異変に気づいた時点で、適切な対策を講じることの重要さを教えてくれました。

新潟水俣病の教訓の数々は、社会の様々な利害が複雑にからみあう状況の中で、科学的な仕組みを解明するとともに、相手の立場に立って考える心や問題の解決に向けて勇気を持って立ち向かうなど、心の中の問題も考えなければならないことを教えてくれています。

まだまだ私たちへの影響がわからないことがたくさんあります。私たち一人ひとりが新潟水俣病の経験と教訓を学び、これからの社会と自然を取りまく課題に向き合っていかなければなりません。

ちなみに、2013(平成25)年には、水銀の使用、排出、廃棄の各段階で、世界的に適切に取り組むため、水銀に関する水俣条例が採択されています。



◆阿賀野川プロフィール

川の長さ	210㎞	（日本で10番目）
流出量（年間）	129億㎥	（日本で2番目）
	<平成5年～14年平均>	
流域面積	7,710㎢	（日本で8番目）





阿賀野川は、新潟・福島・群馬の3県にまたがり、源流は栃木・福島県境の荒海山に発し、上流の福島では阿賀川と呼ばれています。また、いくつかの大きな支流に分かれ、有名な水源として猪苗代湖や尾瀬沼・只見川があります。

新潟県立環境と人間のふれあい館　― 新潟水俣病資料館 ―

〒950-3324　新潟県新潟市北区前新田字新々囲乙364-7

TEL 025-387-1450　FAX 025-387-1451

ホームページ　http://www.fureaikan.net